

定例公安委員会の開催状況について

令和6年5月16日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会審議事項

(1) 6月の行事予定について

6月の行事予定について報告があった。

(2) 県監査委員による警察署に対する定期監査の結果について

県監査委員による警察署に対する定期監査の結果について報告があった。

委員から、小さなミスでも隠さず適正に是正することが重要であり、収入事務、支出事務ともに、ミスがあったとしても、それが分かるようなチェックシステムを整えていただきたい旨の発言があった。

委員から、繁忙期等に起こりやすいミスについて、後任にしっかりと伝えていくようなシステムを整えていただきたい旨の発言があった。

本部長から、ミスの絶無に向けて職員に対する教育等は絶えず行っていく必要があるが、上司のマネジメントが重要であり、直近の上司が部下の仕事の内容や進捗状況をきちんと管理するように改めて指示してまいりたい旨の発言があった。

(3) SNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止広報について

SNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止広報について報告があった。

委員から、山形経済同友会が政策提言を行う番組に本部長が、日本銀行山形事務所長、県消費生活センター所長とともに出演するということなので、SNS型投資・ロマンス詐欺被害防止について被害の実態、具体的な手口、被害防止対策等を広く県民に周知を図ることができるので期待している旨の発言があった。

本部長から、SNS型投資・ロマンス詐欺への対策については、警察による捜査のほか、官民連携による『被害に遭わない社会づくり』を一層推進してゆくこと、県民一人一人が犯行の手口をよく理解して騙されないための気付きを得ていただくことを情報発信し、『SNSでお金のお話が出たら詐欺』という被害に遭わない要点を紹介し、SNSでお金のお話が出ること自体が怪しい、という気付きを得ていただきたいと考えている旨の発言があった。

委員から、現在、金融機関やコンビニ等と連携し、窓口から現金を振り込ませないための対策がなされているが、将来的に金融機関の窓口等が更に減り、インターネットを介しての送金等が増えていった場合、若年者を含む送金等に不慣れた層に対する防犯教育が必要である旨の発言があった。

本部長から、県民が被害に遭わないために、企業・業界とどのように連携を更に深めていけるかについて、引き続き検討していきたい旨の発言があった。

2 個別審議等会議

- 警察職員等の援助要求について
警察本部から、警察職員等の援助要求について説明を受け、決定した。
- 運転免許行政処分審査
警察本部から、運転免許の取消処分にかかる意見の聴取、聴聞及び運転免許の拒否処分結果について説明を受け、決定した。
- 県監査委員による定期監査の結果についての説明
警察本部から、県監査委員による定期監査の結果について説明があった。
- 月山道路の現状等に係る説明
警察本部から、月山道路の現状及び今後の対策の方向性について説明があった。